

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	20723	
事業名	道路認定推進費						
評価担当課	所属	建)総務部 道路認定課			電話番号	011-211-2457	
施策名	-						
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外						
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費 <input type="radio"/> 臨時的経費			<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 法定経費 <input type="radio"/> 指定管理費			
	<input type="radio"/> 直営 <input checked="" type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助・助成 <input type="radio"/> その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	道路は、一般交通の用に供せられ、これを根幹として生活圏が形成され、公的又は私的な活動が展開される。公共用地として一定の空間を画している道路は、電気、ガス、上下水道等の公益事業等の施設のための場を提供するとともに、災害時の延焼防止機能を担っている重要な施設である。 ライフラインの確保等、市民が安全で快適な日常生活を送る上で私道の認定は必要不可欠なものであり、市民の認定要望も強く、事業の必要性は極めて高い。					
	事業内容(何を実施し)	市民からの申請に基づき、私道を市道に認定するもの。 市道として認定するためには、寄附申し出がなされた道路用地と民有地の境界を明確にする必要があることから、用地確定測量を始めとする測量業務を実施している。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	私道を市道にすることで、短期的には、その道路の維持及び管理を通じて沿道の住民等の生活環境を改善することができ、長期的には、道路の交通の安全の確保と円滑化に寄与するとともに、上下水道などのインフラ整備を通じて住みよいまちづくりなどに貢献することができる。					
	他都市の状況	本市同様他に他の政令指定都市も私道を市道に認定するための事務を実施している。					
	市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外					
令和5年度決算額	64,073 千円	うち特定財源	5,019 千円	正規職員業務量	5 人工		
令和6年度予算額	72,050 千円	うち特定財源	6,550 千円	正規職員業務量	5 人工		
令和6年度決算額	58,131 千円	うち特定財源	6,550 千円	正規職員業務量	5 人工		
令和7年度予算額	72,788 千円	うち特定財源	6,600 千円	正規職員業務量	3 人工		
指標	アウトプット活動指標1	測量延長			という活動、業務を行うことで		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		11件、1.4km	9件、0.9km	9件、1.0km	9件、1.0km	9件、1.0km	
	アウトカム成果指標1	認定延長			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		5本、0.4km	8本、0.6km	8本、0.5km	5本、0.4km	10本、0.8km	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	当初の想定よりも測量の延長がわずかに短かったことにより、活動実績は予定数値に達することができなかった。一方、認定に至る件数・延長は概ね予定どおりであり、成果実績は予定数値に達した。今後も、従前同様に適正な予算の執行に努める。					
アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで			
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい			
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	市民等からの要望に応えながら事業を適切に進めており、現時点では、特に見直すべきものはないと考える。						
来年度以降の方向性	これまでの実績と本年度の執行状況、市民等からの要望等を踏まえて適切に予算を執行する。						